

すべての女性が健康である社会づくりと
健康な次世代の創出をめざして産科婦人科館出張
佐藤病院

高崎市



▶ 代表者: 佐藤 雄一
▶ 従業員数: 167人

▶ 住所: 高崎市若松町96
▶ TEL: 027-322-2243
▶ Mail: 2-nurse@sato-hospital.gr.jp
▶ URL: <https://www.sato-hospital.gr.jp/>

当院HPへは
こちらから→



企業紹介

佐藤病院は江戸中期から続く産婦人科専門の個人病院。現在の院長は12代目であり、年間約1400件の分娩と約300件の婦人科手術を行います。思春期から老年期まですべての女性の健康をサポートする佐藤病院グループには、当院を中心に、高度生殖医療を担う高崎ARTクリニック、働く女性の健康をサポートする東京日本橋のフィーカレディースクリニックがあります。そのほか、子宮頸がん予防啓発と積極的な医療健康情報の発信を目的としたNPO法人ラサーナや、安心して子育てできる環境づくりをサポートする一般社団法人コトハバとともに、すべての女性が健康である社会づくりと健康な次世代の創出に取り組んでいます。

経緯・背景

日本の少子化に歯止めをかけるための施策の数々が、SDGsの理念に合致するものでした。低出生体重児の増加と妊婦の痩せが深く関わっていることを知り、妊娠期の厳しい体重制限を緩和～全妊婦対象の個別栄養指導等、栄養を中心とした体づくりに取り組みます。

一方、若い世代に急増している子宮頸がんを予防するため、2010年NPO法人ラサーナを開設し、学校や企業や市民向けに講演会を開催。2012年に、無関心層に向けた啓発活動として「高崎美スタイルマラソン」を開催する等、多方面から少子化対策に挑みます。

具体的な取組

- ①低出生体重児の割合の減少に向けた、栄養指導や妊娠中期目標体重の指導
- ②「高崎美スタイルマラソン」は自治体や警察、地域の企業の協力で子宮頸がん予防啓発を広く伝える街中マラソン大会。「弁天講プロジェクト」は信用金庫、神社とコラボし、初詣での福袋販売、安産祈願、プレコンセプションケアの大切さについての情報発信を同時に行うもの。「若者たちのための街の保健室～ユースクリニック」はドラッグストアと協力し設置した若者たちの無料相談窓口。



成果・効果

2018年第2回ジャパンSDGsアワード特別賞を受賞。

- ①平均出生体重は全国平均の3,000g(2015年)を上回ります。一般に母体年齢が上がると出生体重は低下する傾向がありますが、それにもかかわらず増加が認められました。
- ②「高崎美スタイルマラソン」は延べ6,500人のランナー、その他ボランティアスタッフや応援者に検診の大切さを伝えてきました。「弁天講プロジェクト」は2019年に作成した30,000冊の小冊子は、初詣の他、52か所に設置し配布されました。「若者たちのための街の保健室ユースクリニック」は100余名が様々な内容で相談利用中。



弁天講プロジェクト



当院にとってのSDGsと、その展望

妊婦の痩せを改善すること、栄養不足の母体から生まれる低出生体重児を減らすことは、現代的な意味での持続可能な飢餓対策ともいえます(「2・飢餓をゼロに」)。また、「3・すべての人に健康と福祉を」「4・質の高い教育をみんなに」「5・ジェンダー平等を実現しよう」に深く関わっています。今後さらに地元の企業等とコラボし、女性の健康を支え(「17・パートナーシップで目標を達成しよう」)健康な次世代の創出を目指して活動します。